

C H U B U P R O J E C T

5 |

都市開発

都心の魅力向上

静岡都心整備

問い合わせ先

①②静岡市都市局都市計画部市街地整備課
〒420-8602 静岡市追手町5番1号
TEL 054-221-1410

③静岡市都市局都市計画部公園整備課
〒420-8602 静岡市追手町5番1号
TEL 054-221-1420

プロジェクトホームページ

①・② http://www.city.shizuoka.jp/000_000509.html
③ http://www.city.shizuoka.jp/000_004844.html

● 事業の背景・目的

- ①、②市街地再開発事業等の推進により土地の合理的かつ健全な高度利用と都市機能の更新を図る。
- ③天守台跡地の発掘調査と天守台跡地整備の検討

● プロジェクトの特徴・効果

- ①、②まちのリニューアル
- ③歴史都市の魅力向上

● 計画の概要

- ①静岡呉服町第二地区市街地再開発事業
- ②静岡七間町地区優良建築物等整備事業
- ③駿府城公園再整備

● 事業の経緯

- ①平成26年度、組合設立。
- ②平成26年度、建設組合設立。平成27年度、建築工事着手。
- ③平成3年に整備計画を策定し、順次整備を進めている。

■所在地

静岡市葵区

■事業主体

- ①静岡呉服町第二地区市街地再開発組合
- ②静岡七間町地区優良建築物等整備事業建設組合
- ③静岡市

■進捗状況

- ①事業実施中 ②建設中 ③事業実施中

■完成目標・時期

- ①2018年度 ②2017年度 ③2018年度

■事業費・事業規模

- ①76億円 0.4ha
- ②63億円 0.25ha
- ③7億円 1.1ha

● 今後の展望・課題

- ①平成28年度 建築工事着手。平成30年度 竣工予定。
- ②平成30年度 竣工予定。
- ③発掘調査の結果を踏まえ、天守台・天守閣の整備の可否について検討を行う。

中心市街地の活性化と新たな都市の魅力づくり

沼津駅周辺総合整備事業

問い合わせ先

沼津市都市計画部沼津駅周辺整備事務局推進課
〒410-8601
TEL 055-934-4768

プロジェクトホームページ

<http://city-numazu-numazuhp/docroot/shisei/keikaku/station/index.htm>

● 事業の背景・目的

- ・沼津市はこれまで県東部地域の拠点都市として発展してきたが、近年、この拠点性や求心力が失われつつあり、中心市街地の空洞化が懸念されている。
- ・鉄道による南北市街地の分断や交通渋滞など、中心市街地が抱える課題を抜本的に解決するため、鉄道の高架化と周辺の面的整備を一体的に行うとともに、新たな都市機能を導入するなど、複数の事業手法を組み合わせる「沼津駅周辺総合整備事業」を計画し、現在、取り組みを進めている。

● プロジェクトの特徴・効果

- ・沼津駅周辺総合整備事業は、鉄道高架や土地区画整理、再開発、拠点施設整備などの事業を一体的に進め、相乗的な事業効果の発現を図る。

<事業効果>

- ・交通環境の改善（渋滞解消、踏切除去、車道・歩道の拡幅）
- ・都市環境の向上（電線地中化、公園整備、ユニバーサルデザインを取り入れたまちづくり）
- ・防災性の向上（避難路・避難地の確保、緊急車両の通行が容易）
- ・土地の有効利用（鉄道跡地・高架下空間の都市的利用）
- ・広域都市拠点の形成（賑わいの創出を図る拠点施設の導入）
- ・経済活動の活性化（交流人口の増加、雇用の創出、民間投資の促進）

■所在地

静岡県沼津市

■事業主体

独立行政法人都市再生機構
（静岡東部拠点特定再開発事業）
静岡県（鉄道高架事業、駅北拠点開発事業）
沼津市（土地区画整理事業、市街地再開発事業、駅北拠点開発事業、関連道路整備事業）

■進捗状況

事業中

■完成目標・時期

2024年度

■事業費

約1996億円

● 計画の概要

- ・JR東海道本線の約3.7km、御殿場線の約1.6kmを高架化する鉄道高架事業
- ・駅北地区において都市再生機構が都市基盤整備と拠点施設の導入を図る特定再開発事業
- ・旧国鉄清算事業団用地を活用し、新たな広域的拠点都市の形成を図る駅北拠点開発事業
- ・鉄道跡地等を活用して既存市街地と一体的な整備を行い、良好な都市居住環境の形成を図る土地区画整理事業
- ・南口駅前広場の拡張整備と都市型施設の導入を図る市街地再開発事業
- ・鉄道高架化に伴い、沼津駅周辺の幹線道路の拡幅や新設を進める関連道路整備事業

● 事業の経緯

平成10年10月	キラメッセめまづオープン
平成12年3月	駅北第一地区土地区画整理事業に着手
平成14年7月	北口駅前広場完成
平成15年3月	駅南第一地区土地区画整理事業に着手
平成15年12月	新車両基地造成事業に着手
平成16年6月	大手町再開発事業に着手
平成16年9月	新貨物駅造成事業に着手
平成18年2月	片浜西沢田線整備事業に着手
平成18年3月	三枚橋錦町線完成（白銀町、錦町地内）
平成18年4月	BiVi沼津オープン
平成18年11月	鉄道高架事業の事業認可取得
平成19年2月	沼津駅周辺土地区画整備事業の都市計画決定（変更）
平成19年10月	駅北第二地区土地区画整理事業に着手
平成20年3月	大手町再開発ビル「イーラ de」オープン 鉄道高架事業の変更認可取得 新貨物ターミナル整備に係る事業認可（変更）
平成20年4月	「静岡県東部地域拠点施設整備構想」公表
平成26年3月	新貨物ターミナル整備に係る事業認可（変更）
平成27年7月	ふじのくに千本松フォーラムの全面開館

● 今後の展望・課題

- ・これまで、都市型商業施設「BiVi沼津」、総合コンベンション施設「プラサヴェルデ」などがオープンし、事業の早期完成に向け、沼津駅周辺の都市基盤整備を着実に進めていく。
- ・また、事業の進捗状況に合わせ、高架下の利用計画について導入する施設の検討や駅舎デザイン、現車両基地・現貨物施設用地の跡地利用等についても市民との協働により取り組んでいく。
- ・一方、本事業は、関係する地域が広く、権利者数も非常に多いことから、用地の取得が大きな課題の一つとなっている。
- ・引き続き、地権者をはじめ、市民の皆様にご理解いただけるよう、今後も丁寧な説明を行いながら、まちづくりを進めていく。

岐阜市の中心市街地を活性化

2期岐阜市中心市街地活性化基本計画

問い合わせ先

岐阜市 まちづくり推進部 まちづくり推進政策課
500 - 8720 岐阜市神田町1丁目11番地
(058)214-4494

プロジェクトホームページ

<http://www.city.gifu.lg.jp/13693.htm>

● 事業の背景・目的

集約型の都市構造を目指し、多くの市民にとって暮らしやすい社会を実現するため、中心市街地の活性化を推進。

● プロジェクトの特徴・効果

柳ヶ瀬の魅力が高めるとともに、柳ヶ瀬と岐阜駅周辺、岐大跡地周辺との回遊性を向上させることにより、にぎわいを柳ヶ瀬へ波及させる。また、ハード、ソフト両面からまちなか居住を推進し、集約型都市構造への転換を目指すとともに、居住者によるにぎわいの創出や商業の活性化につなげる。

● 計画の概要

にぎわいの創出、まちなか居住の推進による中心市街地活性化の実現。
全61事業を推進。

● 事業の経緯

岐阜市中心市街地活性化基本計画（平成19年5月～平成24年9月）
2期岐阜市中心市街地活性化基本計画（平成24年10月～平成29年3月）

● 今後の展望・課題

柳ヶ瀬の魅力を高め、回遊性の向上により、中心市街地全体を活性化させる。

■所在地

岐阜県岐阜市

■事業主体

岐阜市まちづくり推進部 まちづくり推進政策課

■進捗状況

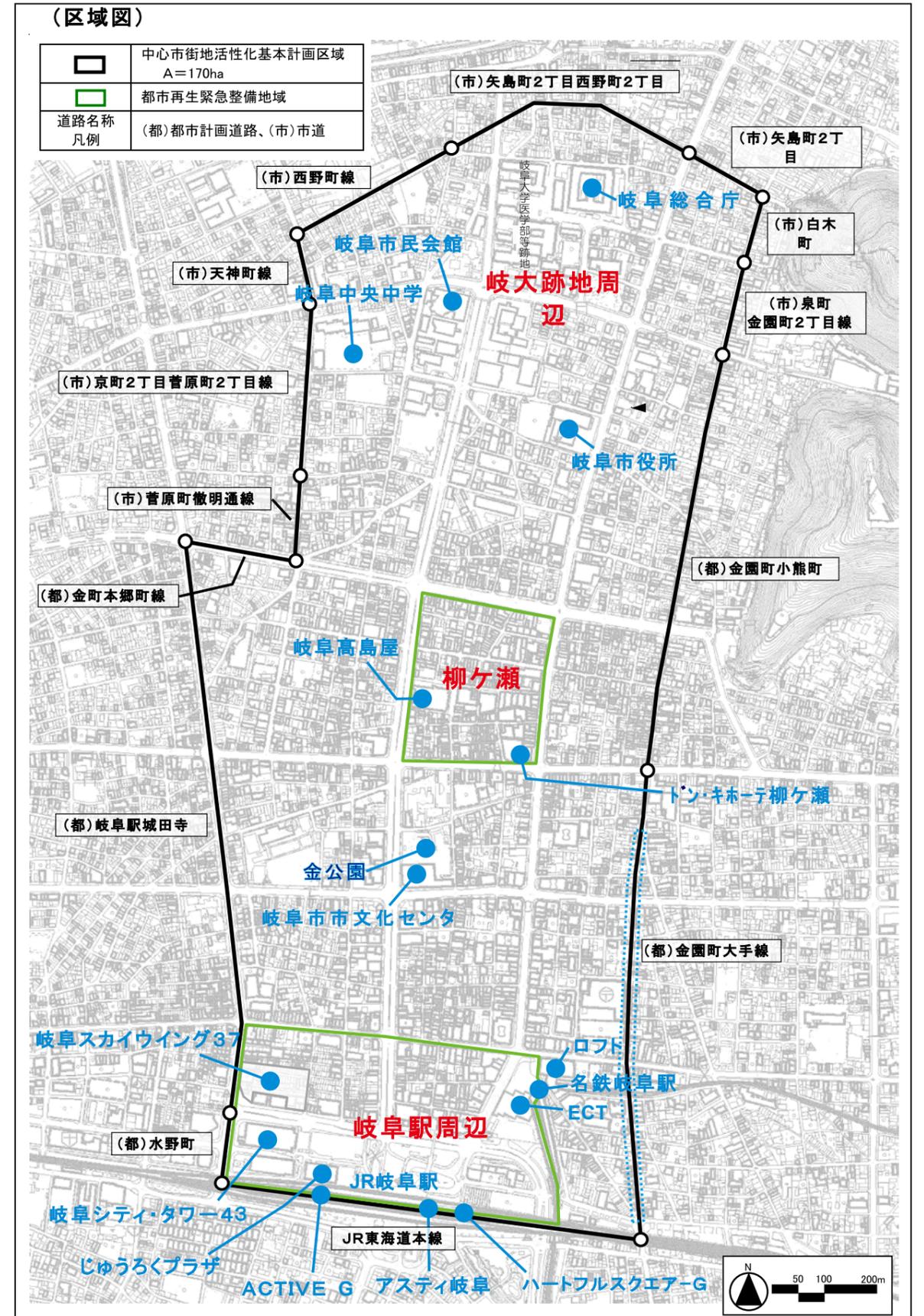
計画推進中

■完成目標・時期

平成24年10月から平成30年3月

■事業費・事業規模

事業費：未定
中心市街地活性化基本計画区域：170ha



愛知県心身障害者コロニーの再編整備

愛知県医療療育総合センター（仮称）

問い合わせ先

愛知県健康福祉部 障害福祉課 障害者施設整備室
コロニー再編整備グループ
〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号
TEL 052-954-6293（ダイヤルイン）
shogaishisetsuseibi @ pref.aichi.lg.jp

プロジェクトホームページ

● 事業の背景・目的

- ・ノーマライゼーション理念の定着、福祉施策が「施設福祉」から「地域福祉」へ転換したこと等により、最小限の入所機能と地域生活支援の充実を図る必要があるため。
- ・施設の老朽化に対応する必要があるため。

● プロジェクトの特徴・効果

- ・「医療支援部門」、「地域療育支援部門」に再編のうえ、建物の改築整備を行う。
- ・心身の発達障害に関する高度で専門的な医療の提供、常時濃厚な医療が必要な重症心身障害児者に対する入所支援及びセーフティネット機能の提供。
- ・広域かつ高度で専門性を要する地域療育支援の実施。
- ・研究内容を「知能」と「こころ」の2領域に大別し、より臨床研究に重点を置いた研究の実施。

● 計画の概要

愛知県心身障害者コロニーは、障害福祉を取り巻く環境の変化と施設の老朽化に対応するため、機能・規模の見直しと入所者の地域移行を進め、地域で生活する障害のある方々を支援する障害者医療及び療育の拠点となる医療療育総合センター（仮称）に再編整備する。

- ・建物面積：8,527㎡
- ・延床面積：25,769㎡
- ・重症心身障害児者看病棟：地上4階地下1階（病床数：120床）
- ・リハビリテーション棟：地上2階地下1階
- ・本館棟：地上6階地下1階（病床数：147床）

■所在地

春日井市神屋町713-8

■事業主体

愛知県

■進捗状況

事業実施中

■完成目標・時期

平成30年度

■事業費（概算）

12,846百万円

● 関連事業制度

- ・入所者の地域移行先確保のため、民間事業者による重症心身障害児者施設及び障害者支援施設を整備。

● 事業の経緯

- ・平成19年3月：コロニー再編計画策定
- ・平成24年度：基本設計の実施
- ・平成25年度：重症心身障害児者看病棟・リハビリテーション棟実施設計の実施
- ・平成26年度：重症心身障害児者看病棟・リハビリテーション棟建設工事に着手、本館棟実施設計の実施

● 今後の展望・課題

- ・平成28年：重症心身障害児者病棟・リハビリテーション棟開所
- ・平成30年度：本館棟開所（予定）



時間と空間を変えていく。

JR ゲートタワー計画

問い合わせ先

プロジェクトホームページ

<http://www.towers.jp/building>

■所在地

愛知県名古屋市中村区名駅一丁目 1015 番 15 他

■事業主体

東海旅客鉄道株式会社
ジェイアールセントラルビル株式会社

■進捗状況

建設中（2015年11月現在）

■完成目標・時期

2016年11月 オフィス入居開始
2017年4月
タカシマヤ ゲートタワーモール
名古屋 JR ゲートタワーホテル開業

■事業費・事業規模

総事業費 約 1,200 億円
階数：地上 46 階、地下 6 階、高さ：約 220m
敷地面積：約 11,700㎡、延床面積：約 260,000㎡

● 計画の概要

- ・ビルの特徴
- ・JR 名古屋駅前の旧「名古屋ターミナルビル」を建て替え、オフィス、商業施設、ホテル、レストラン街など、多彩な機能が揃う高層複合ビルを建設。15 階までの各階で既存の JR セントラルタワーズと接続し、ショッピングや飲食など色々な目的に合わせ、2 つのビルを一体として、便利に利用可能。
- ・JR ほか、鉄道各線の名古屋駅に直結した便利な立地と、フィットネスクラブ、保育施設、医療施設、貸会議室などのサービス施設が充実し、オフィスワーカーの多様なワーキングスタイルに対応。
- ・入居予定テナント
- ・26～44 階：オフィス（26 階に健康診断・人間ドック機能を持つ医療施設「一般財団法人毎日ドクター」、27 階に社会人向けビジネススクールなどを運営する「株式会社グロービス」が入居）
- ・15 階、18～24 階：宿泊主体型ホテル「名古屋 JR ゲートタワーホテル」15 階：ホテルロビー、ホテルレストラン（運営：株式会社トランジットジェネラルオフィス）、18～24 階：客室（350 室）
- ・15 階：オフィスロビー、オフィスサービス施設（コンビニエンスストア、カフェ、旅行会社等）
- ・13～14 階の一部：フィットネスクラブ（運営：株式会社ルネサンス）
- ・12～13 階：「ゲートタワープラザ レストラン街」（店舗数：37 店舗。タワーズプラザ レストラン街と合わせて 76 店舗となり、日本最大級のレストランフロア）
- ・11 階：ユニクロ・ジーユー
- ・9～10 階：ビックカメラ
- ・2～8 階：約 150 のファッション・雑貨等のショップを集積した商業施設「タカシマヤ ゲートタワーモール」
- ・2 階の一部：保育施設（運営：株式会社アルファコーポレーション）

● 事業の経緯

平成 20 年 12 月 日本郵政グループ等とともに、名駅一丁目 1 番地区における「まちづくり基本構想」を公表
平成 22 年 5 月 開発計画の推進決定を公表
平成 22 年 12 月 名古屋ターミナルビル解体着手
平成 24 年 10 月 JR ゲートタワー建設着手
平成 27 年 12 月 上棟

● 事業の背景・目的

名駅一丁目地区のより良いまちづくりの実現に向けた名古屋市の意向を受け、平成 20 年 12 月に当社と日本郵政グループ等とともにとりまとめた「まちづくり基本構想」に基づき、開発計画を策定し、平成 22 年 5 月に本事業の計画推進決定を公表。

<名駅一丁目 1 番地区における「まちづくり基本構想」>

- (1) 歩行者ネットワーク形成と賑わいづくりのため、名古屋駅から地区を南北に貫通する安全で快適な歩行者通路を整備。
- (2) 歩行者通路整備と併せ、交通の結節点としてのターミナル機能強化と利用者の利便性向上を目指して、バスターミナルを地上 1 階レベルに集約整備。
- (3) 国際都市名古屋の玄関口にふさわしい多様な都市機能の集積により、利便性の高い複合施設を開発し、名古屋駅周辺地区に更なる賑わいと活力を創出。
- (4) 建物内外の広場空間等に、適切な規模の緑化を図るなどして、環境にやさしいゆとりと潤いのある魅力的な都市空間を形成。

● プロジェクトの特徴・効果

<計画のコンセプト・特徴>

- ・JR セントラルタワーズと一体で利便性の高い魅力ある都市空間を創造し、名古屋駅周辺地区にさらなる賑わいを創出する。
- ・オフィス集積地にふさわしい都市機能を補強し、名古屋駅周辺地区における多様なワーキングスタイルに対応する。
- ・自然エネルギーの活用等により、環境への負荷低減に配慮したゆとりある都市空間を形成する。



親しまれる港づくりを目指して

築地ポートタウン 計画

問い合わせ先

名古屋市住宅都市局都市整備部臨海開発推進室
〒460-8508 愛知県名古屋市中区三の丸3-1-1
TEL 052-972-2717

名古屋港管理組合建設部総合開発室
〒455-0033 愛知県名古屋港区港町1-11
TEL 052-654-7986

プロジェクトホームページ

<http://www.city.nagoya.jp/jutakutoshi/page/0000073107.html>
http://www.port-of-nagoya.jp/tsukiji_port_town/index.html

● 事業の背景・目的

- ・築地口からガーデンふ頭に至る地区は、1907年の名古屋港の開港以来、輸出入の拠点として発展してきた。
- ・港湾物流の沖合展開や市民の港への関心の高まりに対応するため、ガーデンふ頭では再開発によりガーデンふ頭臨港緑園、名古屋港ポートビル、名古屋港水族館などが整備されてきているとともに、その後背市街地は、地区総合整備により、江川線の整備や住環境整備などの事業が行われてきた。
- ・現計画（2015年見直し）は、地区の将来像を明確にし、住民・企業・行政が共通の目標を持ち、連携しながら港まちづくりを進めていくための指針である。

● プロジェクトの特徴・効果

- ・市街地の整備を進めている名古屋市と名古屋港を管理する管理組合が協力することにより、単なる港湾部の再開発だけでなく、それに接続する市街地の整備を一体的に実施している。
- ・地域の多様な関係者による、港まちならではの地域資源を活用した「定住魅力」「来訪魅力」が調和したまちづくりをめざし、一層の地域の魅力、防災機能の向上を図る。

■所在地

愛知県名古屋市港区

■事業主体

名古屋市
名古屋港管理組合

■進捗状況

事業中

■完成目標・時期

2027年度

■事業規模

約110ha

● 計画の概要

市民や住民の心のふるさととなるような「美しい港まちづくり」をまちづくりのテーマとし、3つの将来像を掲げ、その実現に向けて基本方針を設定している。

- (1) 市民に親しまれる港 ～名古屋の名所となる港まち～
 - ・港の魅力が満喫できる空間の創出
 - ・一日楽しく滞在できるまちの魅力づくり
 - ・港ならではの景観形成
- (2) 世界につながる交流拠点 ～多様な人と情報が交流する港まち～
 - ・国際交流機能の充実
 - ・水上交通の拠点機能の充実
- (3) 個性ある港まちづくり ～安全で特色のある港まち～
 - ・災害から命を守る防災体制の構築
 - ・地域の魅力を知り・伝える取組みの充実
 - ・暮らしに便利な特色のある商業空間づくり
 - ・定住を促進する暮らしやすい快適な居住環境の形成
 - ・新たなチャレンジができる機会の充実

● 事業の経緯

- 1991年（H3年） 築地ポートタウン計画策定
- 1992年（H4年） 築地第1種市街地再開発事業完了、名古屋港水族館（南館）開館、JETTYオープン、名古屋港跳上橋の補修
- 1994年（H6年） 港橋広場公園完成
- 1999年（H11年） アートポート1999（ガーデンふ頭東地区倉庫実験活用）開催
- 2000年（H12年） アートポート2000開催
- 2001年（H13年） 名古屋港水族館（北館）開館、水族館南側緑地・海岸プロムナード供用開始、アートポート2001開催、稲荷公園再整備（ゆめランド）完成、地下鉄名古屋港駅3番出入口完成、西築地コミュニティセンター開館
- 2002年（H14年） アートポート2002開催、電子芸術国際会議2002名古屋開催
- 2003年（H15年） アートポート2003開催
- 2005年（H17年） 名古屋港イタリア村オープン、浜住宅市街地総合整備事業完了
- 2006年（H18年） ポートピア名古屋オープン、港まちづくり協議会発足
- 2007年（H19年） 名古屋港開港100周年、築地ポートタウン計画改訂
- 2008年（H20年） 名古屋港イタリア村閉鎖
- 2009年（H21年） 江川線整備完了（築地ポートタウン地区内）
- 2010年（H22年） 名古屋港管理組合新庁舎完成
- 2013年（H25年） 名古屋港線（浜地区）整備完了、名古屋港跳上橋の補修（H25年～）
- 2015年（H27年） 築地ポートタウン計画見直し

都心に残された貴重な大規模空間の整備・開発

ささしまライブ24

問い合わせ先

名古屋市住宅都市局都心開発部ささしまライブ24総合整備事務所
〒453-0801 愛知県名古屋市中村区太閤一丁目19番7号
TEL 052-453-0171

プロジェクトホームページ

<http://www.city.nagoya.jp/shisei/category/53-10-6-0-0-0-0-0-0.html>

● 事業の背景・目的

- ・ ささしまライブ24地区は、名古屋駅から南へ1kmに位置する旧国鉄笹島貨物駅跡地および中川運河船だまり周辺を含む約22.1haの地区であり、都心部に残された貴重な大規模未利用地となっていた。そこで従前の貨物駅に代表される物流中心の土地利用からの転換を図り、商業・業務を中心とした新たなまちづくりに向けて、平成11年度から名古屋市施行の土地区画整理事業を実施している。名古屋駅地区とともに名古屋大都市圏の玄関口にふさわしい活気あふれたまちを目指している。
- ・ 太閤地区は、ささしまライブ24地区の北に隣接する地区であり、名古屋駅地区とささしまライブ24地区のアクセス強化のため、幹線道路（椿町線）の整備を実施している。また、幹線道路の整備とあわせて土地利用の更新と居住環境の改善を目指し、ささしまライブ24地区と一体的に整備する。

● プロジェクトの特徴・効果

- ・ 交通結節点の名古屋駅に近く、都心周辺内に残された貨物駅跡地を含む地区の整備・開発である。
- ・ 道路や公園などの都市基盤が土地区画整理事業及び街路事業により整備されるのに並行して、土地利用の面では民間活力を活用した各種プロジェクトが進められており、にぎわいのある「国際歓迎・交流拠点」の形成を目指した複合型のまちづくりが実施されている。
- ・ 区画整理事業により椿町線アンダーパス及びオーバーパスが整備されることにより、鉄道敷地による地域分断が解消され、名古屋駅周辺の交通ネットワークが強化される。
- ・ 名古屋駅周辺地区全体はもとより、名古屋駅大都市圏さらには中部圏の活性化に寄与する都市機能の集積が進むことが期待される。

● 計画の概要

ささしまライブ24地区・太閤地区の整備・開発

■所在地

愛知県名古屋市中村区、中川区

■事業主体

名古屋市

■進捗状況

事業実施中

■完成目標・時期

2021年度（土地区画整理事業）
2016年度（街路事業）

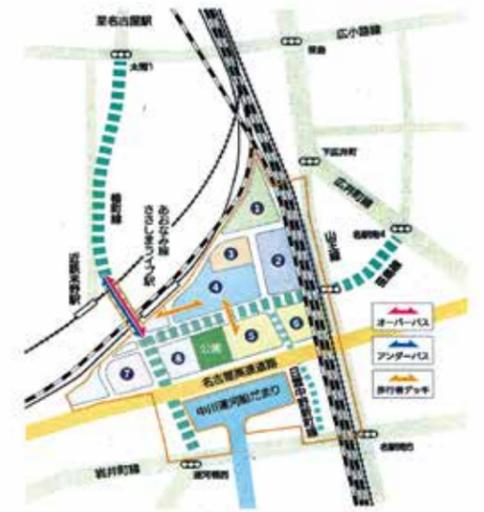
■事業費

約375億円（土地区画整理事業）
約83億円（街路事業）

■整備計画

番号	開発の内容	敷地面積	開業時期
①	プライダル施設、ホテル等 (THE ART GRACE)	約1.0ha	H27年度開業予定
②	シネコン、商業等<マーケットスクエアささしま> ライブホール(Zepp Nagoya)	約1.0ha	H17.3開業
③	国際交流・研修施設<JICA中部国際センター>	約0.6ha	H21.6開業
④	事務所、ホテル、コンファレンス、商業等 (グローバルゲート)	約1.7ha	H29年度開業予定
⑤	大学<愛知大学名古屋キャンパス>	約1.5ha	H24.4開校
⑥			H29.4供用開始予定
⑦	賃貸住宅等<ロイヤルパークスERささしま>	約0.8ha	H27.3入居開始
⑧	放送局<中京テレビ放送機社屋>	約0.7ha	H28年秋開業予定

④～⑧は平成19年度に実施した開発提案競技によるプロジェクト



● 関連事業制度

- ・ 土地区画整理事業（国土交通省）
- ・ 街路事業（国土交通省）

● 事業の経緯

- 1999年 8月 土地区画整理事業の都市計画決定
都市計画道路（椿町線・笹島線）の都市計画決定
- 2000年 3月 土地区画整理事業の事業計画決定
10月 土地区画整理審議会設置
- 2001年 2月 街路事業認可（椿町線 岩塚牧野線～鉄道敷）
- 2002年 4月 仮換地指定
10月 都市再生緊急整備地域の指定
- 2004年 2月 地区計画の決定、用途地域等の変更（土地区画整理事業）
7月 ささしまライブ24まちづくり協議会の設立
- 2008年 1月 保留地及び市有地を活用した開発提案事業者決定（グローバルゲート、愛知大学）
9月 街路事業認可（椿町線 岩塚牧野線～広小路線）
- 2011年 9月 ささしま米野歩道橋（オーバーパス）開通
- 2012年 1月 特定都市再生緊急整備地域の指定
4月 愛知大学名古屋キャンパス開校

● 今後の展望・課題

- ・ 地区のハード整備が終盤をむかえ、地区のコンセプトである「国際交流・歓迎拠点」として、多くの人が集い、交流し、時を過ごす、「24時間活き活きとしたまち」へと変貌しつつあります。
- ・ 土地所有者等で組織される「まちづくり協議会」にて建築計画の調整を行うとともに、今後のエリアマネジメントの活動実施の検討を進めています。

名古屋駅周辺地下 公共空間整備

問い合わせ先

名古屋市住宅都市局都心開発部
リニア関連・名駅周辺まちづくり推進室
〒460-8508 愛知県名古屋市中区三の丸3-1-1
052-972-2763

プロジェクトホームページ

■所在地

愛知県名古屋市中村区名駅南
1丁目から4丁目地内

■事業主体

■進捗状況

計画・構想中

■事業費

約134億円

●事業の経緯

2012年 1月 特定都市再生緊急整備地域の指定

2012年 2月 都市再生特別措置法に基づく整備計画を策定し、位置付け

●今後の展望・課題

2016年度 都市計画決定予定

●事業の背景・目的

- ・名駅の開発、ささしまライブ24地区の開発による歩行者量の増加が予測され、歩行者アクセスの改善が求められている。
- ・名駅通の笹島交差点から南について、歩行者アクセスの改善を図るとともに地区の開発を誘導促進していくための高質な都市基盤として、新たな歩行者空間の整備を推進する。

●プロジェクトの特徴・効果

- ・PFIによる整備、維持管理
- ・延長約390m、幅員約8.5m
- ・ムービングウォークの設置

●計画の概要

名古屋駅周辺地区のまちづくりの一環として、名古屋駅地区からささしまライブ24地区・名駅南地区方面への回遊性の高い歩行者ネットワークの形成を図るため、地下公共空間の整備を行う。

●関連事業制度

国際競争拠点都市整備事業（国土交通省）

副都市核としてふさわしい賑わいのある、
安心・安全に暮らせるまちづくり

久居駅周辺地区整備事業 久居駅周辺地区都市再生整備計画

問い合わせ先

津市建設部建設整備課
〒514-8611 津市西丸之内 23 番 1 号
TEL 059-229-3195

プロジェクトホームページ

<http://www.info.city.tsu.mie.jp/uploads/photos/45421.pdf>

■所在地

津市久居新町ほか

■事業主体

津市 建設部 建設整備課
スポーツ文化振興部 文化振興課
久居総合支所 地域振興課

■進捗状況

平成 27 年度から平成 31 年度の 5 年間で
整備完了予定

■完成目標・時期

平成 31 年度

■事業費

事業対象面積 174ha
事業費 70 億 3,400 万円

● 事業の背景・目的

久居駅周辺は、副都市としての玄関口であるが、地域の活力低下がみられ、新たな交流と地域の活力向上、賑わいの創出、円滑な交通体系の整備が急務となっていることから、副都市核としてふさわしい、にぎわいある安心・安全に暮らせるまちづくりを図る目的として、国の社会資本整備総合交付金を活用し、久居駅周辺地区都市再生整備事業を行う。

● プロジェクトの特徴・効果

新たな文化ホールの整備や駅周辺のアクセスの向上により地域の活性化を図り、災害時においては、防災機能のある施設の整備を行う。

● 計画の概要

市道新町野口線道路改良事業、久居駅東口広場整備事業、久居駅西口広場整備事業、(仮称)津市久居ホール整備事業、避難路整備事業、久居交流広場整備事業、耐震性貯水槽、防災備蓄倉庫整備事業、久居駅東口防災施設整備事業、津市久居体育館ユニバーサルデザイン事業

● 関連事業制度

社会資本整備総合交付金 (都市再生整備事業計画)

● 事業の経緯

平成 27 年度より事業着手し、平成 31 年度の事業完了を目指して整備を進めている。

● 今後の展望・課題

建築工事費の高騰が進むなか、限られた財源による高品質な施設整備を進める必要がある。

(仮称) 市民総合交流センター

(仮称)市民総合交流センター

問い合わせ先

草津市役所 まちづくり協働部 拠点施設整備室
〒525-0034 滋賀県草津市草津三丁目13番30号
TEL 077-561-6931

プロジェクトホームページ

<https://www.city.kusatsu.shiga.jp/shisei/seisaku/shikeikaku/chikijinkensomubosai/kyoten120150217.html>

所在地

滋賀県草津市大路二丁目

事業主体

滋賀県草津市

進捗状況

設計中

完成目標・時期

2019年3月

事業費

約67億円

● 事業の背景・目的

老朽化が著しい近隣の公共施設を集積させ、中心市街地に人、モノ、情報が交流する施設整備を進め、賑わいを創出する。

● プロジェクトの特徴・効果

JR草津駅周辺に点在している老朽化が著しい公共施設等を集約し、加えて、子育て支援の情報交流や子どもから高齢者まで多世代交流ができる空間等を設けることにより、中心市街地に人、もの、情報等が集まり、多くの市民が活用しやすく交流できる施設として、地域力を創造・発信していく施設を整備する。

● 計画の概要

- ・複合棟 延べ床面積 約9,000㎡
- ・地上5階建て
- ・駐車場棟 延べ床面積 約5,000㎡

位置図



● 事業の経緯

- 平成25年度 (仮称) 市民総合交流センター基本構想
- 平成26年度 (仮称) 市民総合交流センター基本計画・基本設計



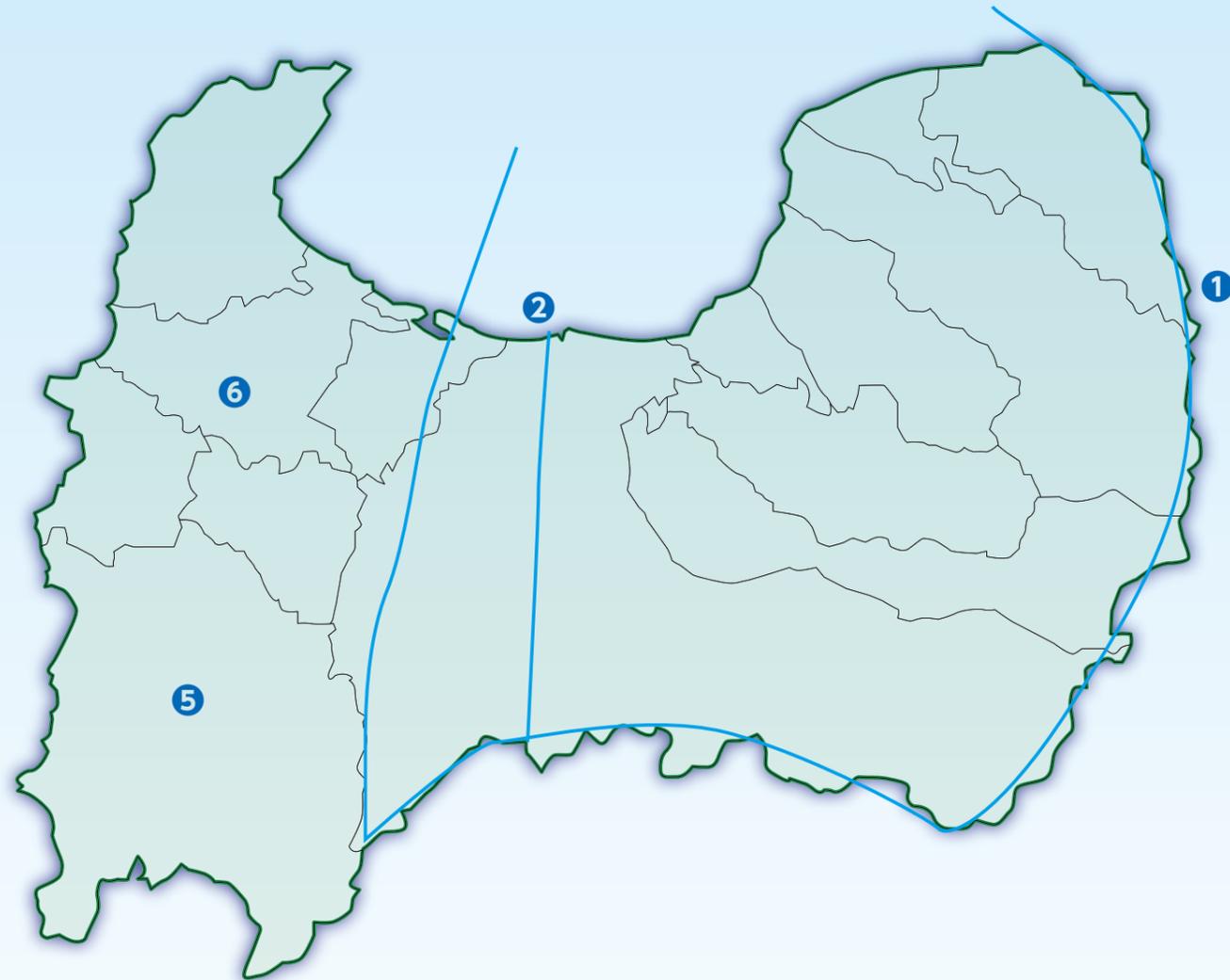
C H U B U P R O J E C T

6 | 中部圏の各プロジェクト

富山県

③ 富山県全域

④ 富山県全域



	プロジェクト名称	場 所	分 野
①	立山黒部ジオパーク	富山県東部（富山市、魚津市、滑川市、黒部市、舟橋村、上市町、立山町、入善町、朝日町）	観光・文化・教育・イベント等
②	北アルプスゴールデンルート	富山県富山市～岐阜県高山市～長野県松本市～新潟県糸魚川市～富山県富山市	観光・文化・教育・イベント等
③	富山県企業立地促進計画（第二期）	富山県全域（山間部等除く）	産業・技術・情報
④	築地ポートタウン計画	富山県、石川県、福井県	産業・技術・情報
⑤	利賀ダム建設事業	富山県南砺市	治水・利水
⑥	国営総合農地防災事業 庄川左岸地区	富山県高岡市、砺波市小矢部市、南砺市	治水・利水

アクセス

富山県からは北陸自動車道を軸にして東京、名古屋、大阪の三大都市圏に向けて高速道路が延びている。また、2015年春の北陸新幹線が開業により東京まで2時間余で移動可能となった。

さらに、特定重要港湾伏木富山港は、国際拠点港湾として、中国・韓国・ロシアなど環日本海諸国との物流ネットワーク構築が期待されている。

石川県



	プロジェクト名称	場 所	分 野
①	小松白川連絡道路	岐阜県白川村～石川県小松市	交通・流通
②	金沢港整備事業	石川県金沢市	交通・流通
③	北陸新幹線	長野県～新潟県～富山県～石川県～福井県 ～京都府～大阪府	交通・流通
④	金沢城公園整備事業	石川県金沢市	観光・文化・教育・イベント等
⑤	いしかわサイエンスパーク	石川県能美市	産業・技術・情報
⑥	革新的イノベーション創出プログラム	石川県、岐阜県内各所	産業・技術・情報

アクセス

石川県は三大都市圏とはほぼ等距離に位置している。

北陸新幹線の開業により東京・大阪・名古屋いずれも2時間30分程度の圏内となった。高速道路および一般道も整備されて各地へ円滑な移動が可能となっている。

海の玄関である金沢港は日本海側拠点港として国際海上コンテナ及び外航クルーズ機能にかかる整備が進められている。

福井県

③ 福井県全域

⑤ 福井県全域



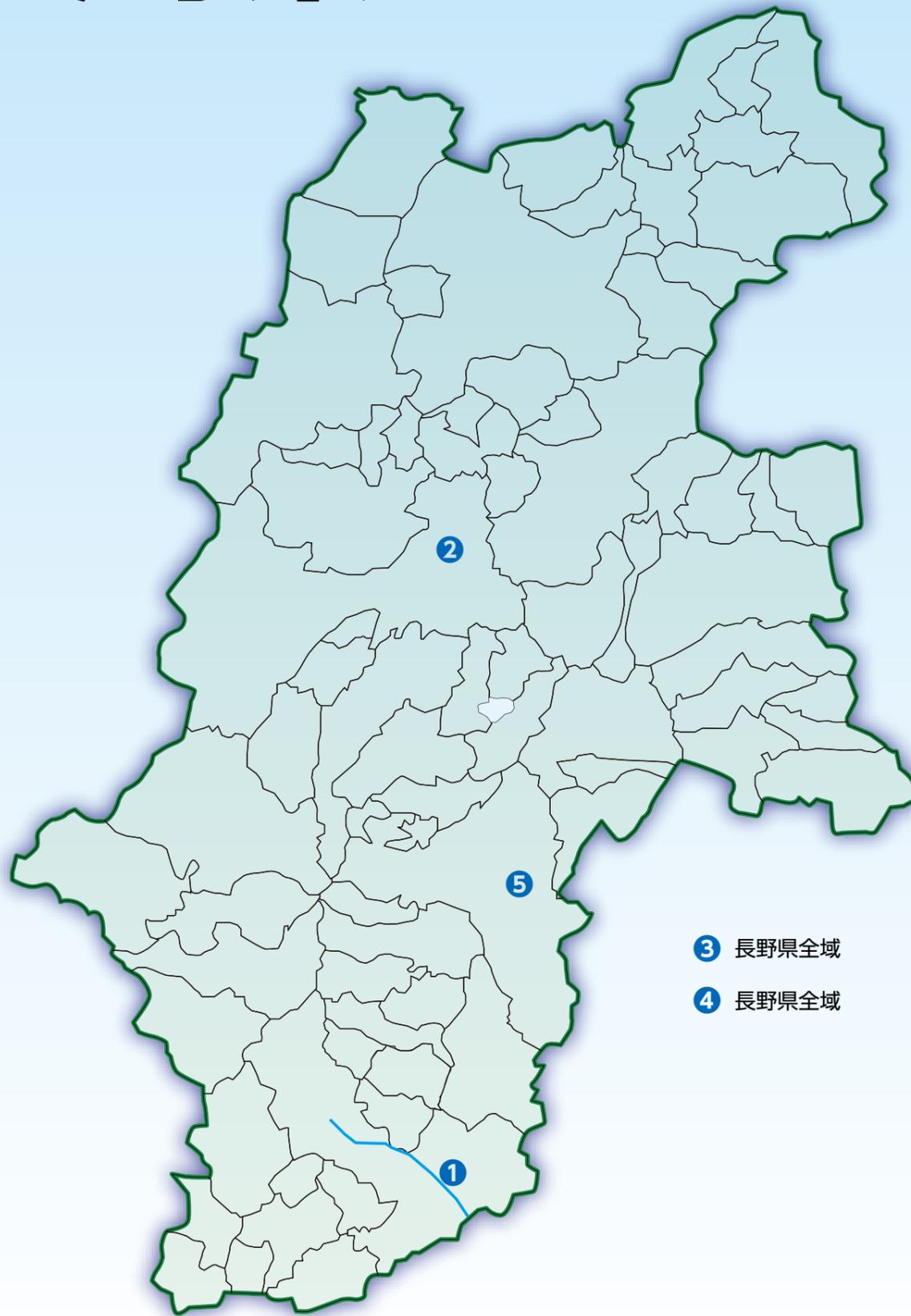
	プロジェクト名称	場 所	分 野
①	福井港整備事業	福井県坂井市、福井市	交通・流通
②	敦賀港鞠山南地区多目的国際ターミナル整備事業	福井県敦賀市	交通・流通
③	福井しあわせ元気国体・福井しあわせ元気大会	福井県全域、石川県金沢市、静岡県御殿場市	観光・文化・教育・イベント等
④	恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク	福井県勝山市全域	観光・文化・教育・イベント等
⑤	エネルギー研究開発拠点化計画	福井県全域	産業・技術・情報
⑥	足羽川ダム建設事業	福井県今立郡池田町	治水・利水

アクセス

福井県は、3大都市圏から日帰り可能な圏内にあり、日本海側トップクラスの交通条件を有している。また、本州日本海側のほぼ中央にあることから、全国規模で考えた場合、製品搬出費を低減できるメリットがある。

敦賀港は、日本海側の中でも近畿、中京の二大経済圏に近く、また東アジアを始めとする各国との貿易拠点として多目的国際ターミナルの整備を進めている。道路や鉄道とのアクセスも良好である。

長野県



- ③ 長野県全域
- ④ 長野県全域

	プロジェクト名称	場所	分野
①	三遠南信自動車道	長野県飯田市山本～静岡県 浜松市北区引佐町	交通・流通
②	松本城南・西外堀復元事業	松本市大手、城西	観光・文化・教育・ イベント等
③	長野県「地域イノベーション戦略」	長野県全域	産業・技術・情報
④	TOKAI VISION（東海産業競争力協議会報告書）	長野県、岐阜県、静岡県、 愛知県、三重県	産業・技術・情報
⑤	三峰川総合開発事業（美和ダム再開発事業）	長野県伊那市	治水・利水

アクセス

長野県は、首都圏と中京圏の間に位置する。3大都市圏にダイレクトに繋がる高速交通網が整備され、日本海エリアへのアクセスも容易である。

岐阜県

岐阜県全域
岐阜県全域

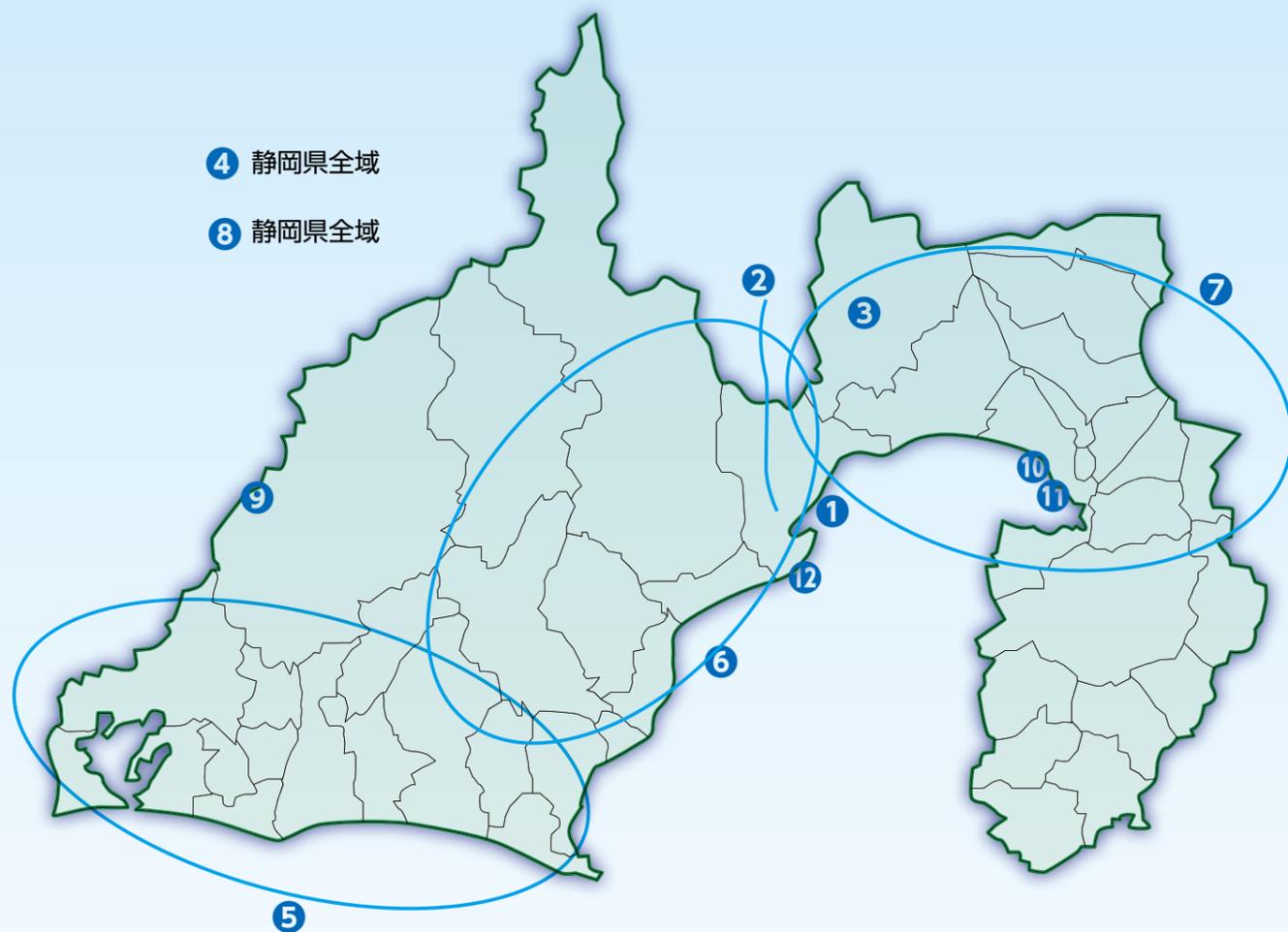


	プロジェクト名称	場 所	分 野
①	濃飛横断自動車道	岐阜県郡上市～中津川市	交通・流通
②	岐阜南部横断ハイウェイ	岐阜県美濃加茂市～大垣市	交通・流通
③	国営木曾三川公園	愛知県、岐阜県、三重県	観光・文化・教育・イベント等
④	岐阜公園再整備事業	岐阜県岐阜市	観光・文化・教育・イベント等
⑤	岐阜市鷺山エリア福祉ゾーンの整備	岐阜県岐阜市早田・鷺山・則武地区	観光・文化・教育・イベント等
⑥	テクノプラザ	岐阜県各務原市	産業・技術・情報
⑦	かかみがはら航空宇宙科学博物館 リニューアル推進事業	岐阜県各務原市	産業・技術・情報
⑧	新丸山ダム建設事業	岐阜県加茂郡八百津町、岐阜県可児郡御嵩町	治水・利水
⑨	第2期岐阜市中心市街地活性化基本計画	岐阜県岐阜市	都市開発

アクセス

中部国際空港を始めとする主要空港から新幹線や鉄道網により、県下各地にアクセスできる。
県内を走る名神高速道路や中央自動車道は日本の自動車道路の大動脈となっており、平成20年7月に全線開通した東海北陸自動車道、東回り区間が開通した東海環状自動車道、中部縦貫自動車道がリンクして広域的な幹線道路網が整備されている。

静岡県



	プロジェクト名称	場所	分野
①	国際海上コンテナターミナル整備（清水港）	静岡県静岡市	交通・流通
②	中部横断自動車道	静岡県静岡市～長野県小諸市	交通・流通
③	富士山世界遺産センター（仮称）	静岡県富士宮市宮町	観光・文化・教育・イベント等
④	南アルプスユネスコエコパークの登録推進	静岡県静岡市、川根本町、長野県飯田市、伊那市、富士見町、大鹿村（米当プロジェクトには山梨県韮崎市、南アルプス市、北杜市、早川町も含まれる）	観光・文化・教育・イベント等
⑤	フォトンバレープロジェクト	静岡県西部地域	産業・技術・情報
⑥	フーズ・サイエンスヒルズプロジェクト	静岡県中部地域	産業・技術・情報
⑦	ファルマバレープロジェクト	静岡県東部地域	産業・技術・情報
⑧	未来創造「新・ものづくり」特区 新・産業集積エリア整備事業	静岡県浜松市	産業・技術・情報
⑨	天竜川ダム再編事業	静岡県浜松市天竜区、愛知県北設楽郡豊根村	治水・利水
⑩	沼川流域治水対策	静岡県沼津市	治水・利水
⑪	沼津駅周辺総合整備事業	静岡県沼津市	都市開発
⑫	静岡都心整備	静岡県静岡市	都市開発

アクセス

静岡県は、日本の東と西を結ぶための結節点として古くから主要道路幹線や鉄道幹線・新幹線が整備されてきた。また、世界につながる太平洋に面し、国際港湾の拠点としても重要な位置を占めており、清水、御前崎、田子の浦の各港では国際海上コンテナターミナルや国際物流ターミナルの整備が進められている。2009年には富士山静岡空港が開港、国際路線も就航し、静岡県には陸・海・空のすべての交通インフラが整っている。

愛知県

- 16 愛知県全域
- 17 愛知県全域
- 18 愛知県全域
- 22 愛知県全域
- 24 愛知県全域

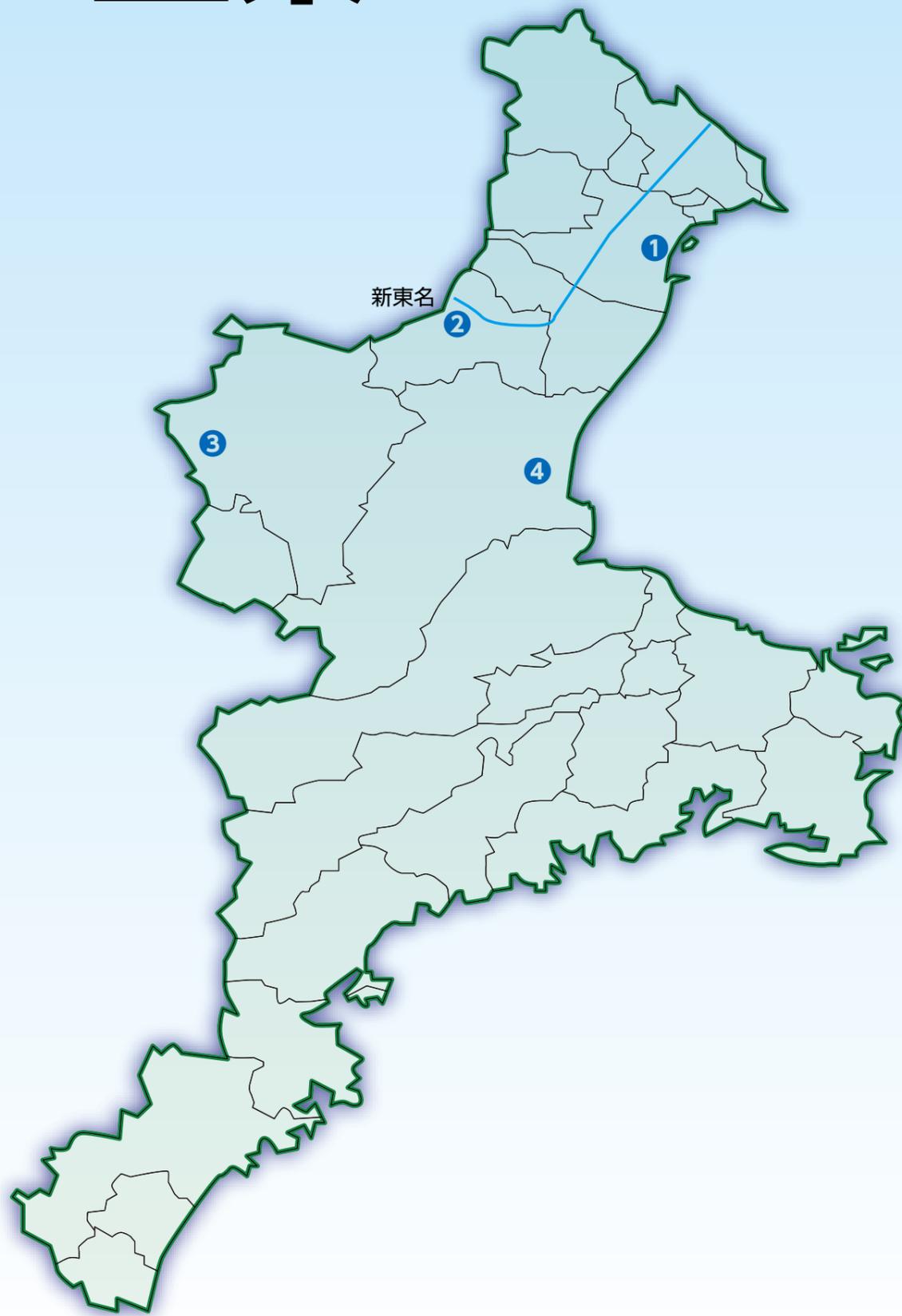


	プロジェクト名称	場 所	分 野
1	国際海上コンテナターミナル整備（名古屋港）	愛知県	交通・流通
2	蒲郡地区国際物流ターミナル整備（三河港）	愛知県蒲郡市	交通・流通
3	中部国際空港機能強化（完全24時間化）	愛知県常滑市	交通・流通
4	新東名高速道路（第二東海自動車道）	愛知県東海市～神奈川県海老名市	交通・流通
5	東海環状自動車道	愛知県豊田市～三重県四日市市	交通・流通
6	名古屋環状2号線	愛知県名古屋市、日進市、春日井市、清須市、あま市、大治町、飛島村	交通・流通
7	名古屋港ふ頭再編改良事業	名古屋港金城ふ頭	交通・流通
8	中央新幹線（東京都・名古屋市間）	東京都、神奈川県、山梨県、静岡県、長野県、岐阜県、愛知県	交通・流通
9	岩ヶ池公園整備事業	愛知県刈谷市	観光・文化・教育・イベント等
10	亀城公園再整備事業	愛知県刈谷市	観光・文化・教育・イベント等
11	愛・地球博記念公園	愛知県長久手市	観光・文化・教育・イベント等
12	油ヶ淵水辺公園	愛知県碧南市、安城市	観光・文化・教育・イベント等
13	東三河ふるさと公園	愛知県豊川市	観光・文化・教育・イベント等
14	名古屋城本丸御殿の復元	愛知県名古屋市中区	観光・文化・教育・イベント等
15	東山動植物園再生プラン	愛知県名古屋市	観光・文化・教育・イベント等
16	あいちトリエンナーレ 2016	愛知県内	観光・文化・教育・イベント等
17	第31回国民文化祭・あいち2016	愛知県内全域	観光・文化・教育・イベント等
18	東海・北陸連携コンポジットハイウェイ構想	愛知県、岐阜県、三重県、富山県、石川県、福井県	産業・技術・情報
19	サイエンス・クリエイト21計画	愛知県豊橋市	産業・技術・情報
20	北名古屋ごみ焼却工場建設事業	愛知県北名古屋市	産業・技術・情報
21	愛知県庁水素社会普及啓発ゾーン	愛知県名古屋市中区	産業・技術・情報
22	国際戦略総合特区「アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区」	愛知県、岐阜県、三重県、長野県、静岡県	産業・技術・情報
23	豊橋市バイオマス資源活用施設整備事業	愛知県豊橋市	産業・技術・情報
24	愛知県国家戦略特別区域	愛知県全域	産業・技術・情報
25	国営総合農地防災事業矢作川総合第二期事業	愛知県安城市、岡崎市、豊田市、知立市、刈谷市、高浜市、碧南市、西尾市	治水・利水
26	設楽ダム建設事業	愛知県北設楽郡設楽町	治水・利水
27	一級河川安永川都市基盤河川改修事業	愛知県豊田市	治水・利水
28	国営総合農地防災事業新濃尾地区	愛知県、岐阜県	治水・利水
29	愛知県医療療育総合センター（仮称）	愛知県春日井市神屋町	都市開発
30	JR ゲートタワー計画	愛知県名古屋市	都市開発
31	築地ポートタウン計画	愛知県名古屋市	都市開発
32	ささしまライブ 24	愛知県名古屋市	都市開発
33	名古屋駅周辺地下公共空間整備	愛知県名古屋市	都市開発

アクセス

道路、港湾、空港等が整備されており、日本の中央に位置する愛知県は陸・海・空の交通・物流の拠点となっている。

三重県



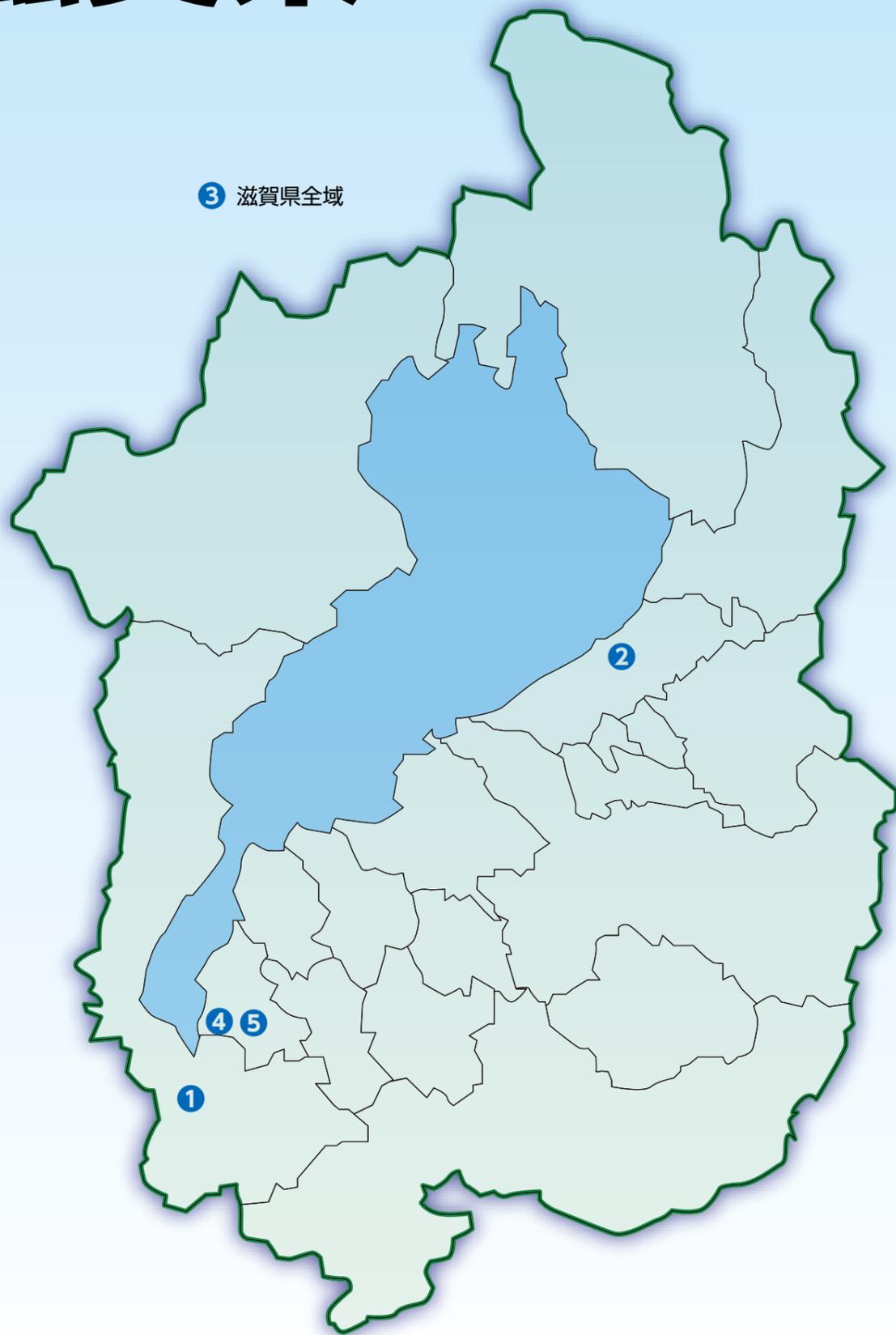
	プロジェクト名称	場 所	分 野
①	国際海上コンテナターミナル（霞 4 号幹線）整備（四日市港）	三重県	交通・流通
②	新名神高速道路	三重県四日市市～ 兵庫県神戸市	交通・流通
③	川上ダム建設事業	三重県伊賀市	治水・利水
④	久居駅（ひさいえき）周辺（しゅうへん）地区整備事業	三重県津市	都市開発

アクセス

伊勢湾岸自動車道の開通や、新名神高速道路（亀山 JCT～草津 JCT）の開通により、名古屋をはじめとする中京圏や京都・大阪など関西圏へのアクセスがますます便利になった。

四日市港は国際海上コンテナ輸送の拠点として、スーパー中核港湾に指定され国を代表するコンテナ港と位置づけられている。現在、中国・韓国・東南アジアへのコンテナ輸送サービスを展開している。

滋賀県



	プロジェクト名称	場 所	分 野
①	新生美術館整備事業	滋賀県大津市	観光・文化・教育・イベント等
②	(仮称) 彦根総合運動公園の整備	滋賀県彦根市松原町地先	観光・文化・教育・イベント等
③	地域の“ものづくり力”を活かした「滋賀健康創生」特区	滋賀県	産業・技術・情報
④	草津市立クリーンセンター更新整備事業	滋賀県草津市	産業・技術・情報
⑤	(仮称) 市民総合交流センター	滋賀県草津市大路二丁目	都市開発

アクセス

滋賀県は、近畿、中京、北陸の3つの経済圏の真ん中に位置する。滋賀から大阪、名古屋はともに100km圏内で、1時間足らずの距離にある。

また、古くから交通の要衝であり、日本の東西を結ぶ幹線道路や鉄道は必ず滋賀を通過している。日本の人、モノ、情報が流れる大動脈が、滋賀で交差している。

さらに、2008年2月に新名神高速道路が開通（大津JCT～亀山JCT）し、交通の利便性はますます向上している。